



熊高 SSH NEWS 第5号

2019年11月7日

【薬理実習】

8月21日(水)日本薬科大学にて、SSHプロジェクト『薬理実習』が行われました。今回の実習は、実際に大学の薬学部で行う実習の体験を通して、進学希望を自分自身で改めて確認することを目的に希望者を募ったところ16名の参加となりました。

当日は、まず『薬理』について基本的な概念から講義をしていただきました。「薬理」とは薬の効き方の道理を研究することですが、『命』に関わる分野だということを先生が強調されていたことがとても印象的でした。完成された薬が手元に届くまでには様々な研究過程があるという認識が高まる内容でした。また、神経系と麻酔作用についての専門的な講義を受けることができました。普段わかっているつもりで使っている「麻酔」、その作用経過を細かく解説していただきました。

講義の後、日本薬科大学の先生方や学生の方々にご指導いただき実習を行いました。班に分かれてデータを得ました。大学の授業でも行っている内容とのことで苦戦する場面もありましたが無事にデータを取得することができました。概ね良い結果が得られたようで日本薬科大学の先生からもお褒めのお言葉をいただくことができました。



夏休み中の SSH プロジェクトの報告は今回で終了です。

【プレゼンテーション講習会】

10月28日(月)に1年次生を対象にプレゼンテーション講習会が行われました。滋賀大学教育学部の加納圭先生が「科学的な視点」から、自由なテーマで研究するときのテーマの選び方や、研究するときの心掛け等を発問形式で講習して下さいました。本などに書いてあることを無条件に信用するのではなく、自分なりの考えをもつこと、それを実験等で検証するときの視点など、大切なことを意識できるように丁寧に講習をして下さいました。熊ゼミの活動、発表にも活かせることが多かったと思います。

さて、1、2年次生のみなさん、「熊ゼミ発表会」での研究テーマはそろそろ決まったでしょうか？発表会前の熊ゼミは2学期に5回、1月に2回ありますが、テーマが決まった後、発表する内容を考え、吟味していくことになります。テーマが決まった後も多くの時間がかかります。早めの準備をしていきましょう。よい発表ができるようしっかりと頑張っていきましょう。